

編集と発行 高知県安芸郡馬路村 馬路村役場 印刷 川北印刷所

馬路村 広報

人口と世帯数

(2月末日、住民登録簿による)

Table with 5 columns: 大字, 男, 女, 計, 世帯数. Rows include 馬路, 魚梁瀬, 計.

一口辞典

馬路村の面積は 165.07Km² うち山林が 14,978ha (90.7%) 耕地が 80ha (0.5%) その他 1,449ha (8.8%)



火災は3月4月が最も多い時季 (写真は、昨年10月奈半利川で) 中芸連合消防団秋季演習風景

議員報酬の引上げ 三役・職員の給与改定 など議決

二月臨時議会から

二月十八日、十九日の両日、臨時議会が開かれ、議員報酬村長等三役の給与改定、一般職員のベース・アップなどによる昭和四十年年度一般会計補正予算(第五号)など、議員提案二つを含む十四議案を原案どおり決定、西岡豊治さん外百十五名から提出された「国有林直営生産事業の一部を特殊企業組合の請負方式とする林野庁機構改革に反対する請願書」を採択、つづいて同趣旨の意見書案が緊急提案され、原案どおり決定しました。

一般会計の補正額は、二百九十三万四千四百九十円にのぼるが、そのほとんどが改定に要するもので、そのほかの財源は、地方交付税の増(二百三十八万八千九百八十八円)前年度からの繰越金九百四十四万八千四百六十六円など、積み立てられています。これによって一般会計予算の累計は一億二千二百八十二万六千四百七十九円となり、国保、簡水、有線の特別会計予算と合算すれば、村の総予算は一億四千三百九十九万九千九百九十九円になります。

議長 九千円 副議長 七千円 議員 六千円

今回の給与改定で注目されるのは、議員報酬が、議長月額九千円(改定前五千六百円)副議長七千円(四千八百円)議員六千円(四千三百円)と引上げられたことですが、この額は、決

してまたにいう「お手盛り報酬」ではなく、今までの額が余りに低すぎた訳です。現に、お隣の北川村では、一万三千円、一万二千円、一万円、奈半利町では一万円、八千円、七千円と本村よりは高額であり、安田町も、奈半利町と同額に引上げを決定しました。議会内部では、この額が高すぎると反対の声もありましたが、「十分とまではいかなくても、これだけの額の報酬はいただき住民の選良として、いっそう活動しようではないか。」との結論が出て、村長提案どおり決定しました。

村長は五万円

一般職員は平均 二千六百円の増

次に、三役の給料は村長が五万円(改定前四万六千円)助役四万円(三万四千八百円)収入役、教育長は同額で三万八千円(三万二千八百円)と改定されました。

今年「選挙の年」

年末には村長・村議の選挙

議院の解散説もぼつぼつ新聞紙上を、かきまわっており、もはや事実上の選挙戦ははじまっていると聞きます。どうやら今秋解散とみるのが大方の予想のようです。村でも、選挙管理委員会では、昨年暮はやばやと村長村議各選挙を、統一選挙とし、本年十二月執行を内定しました。

一般職員については、人事院勧告どおりのベース・アップでありませんが、ここ三か年間一度も、昇給がなされていなかったため、この際あわせて一俵ずつ昇給がなされ、一人平均二千六百円の増額となっています。

一般職員の最高給料が三万四千八百円(改定前三万七千六百円)で、最低が一万二千円(九千五百円)となり、全職員(三役教育長を除く)の平均給料は二万二千八百三十三円となっています。

従来、本村の三役、一般職員の給料は県下的にみても非常に低く、昨年十二月末の県下町村長の給料平均は五万五千円、町村長の給料平均は五万五千円、収入役五万円、職員最高が四万六千円くらいが標準になっていました。

議員提案二議案、二議案は通勤手当の改定と、議員の期末手当の改定です。今までは、魚梁瀬馬路間を通勤する職員に対しては、普通定期券による額の七割が支給されていたものを全額支給に改めるものです。

しかし、実質的な額の変更はありません。

西岡豊治さん外百十五名(全林野労働組合馬路分会組合員)からの「国有林直営生産事業の一部を特殊企業組合の請負方式とする林野庁機構改革に反対する請願書」の内容は「馬路管林署では本村林業構造改善事業の国有林活用に対する指定地第四林班(東川板谷)の素材生産作業を昭和四十一年度から、従来の直営直営による生産に改めて、特殊企業組合(管林署作業員の退職者で設立する組合)に請負いさして行なう意向である。第四林班の立木蓄積量からして、従来の生産量を維持した場合、約三か年の生産量が求められるのであり天然林はこと、安田川山と二か所にしかない現状から、将来管林署作業員の職確保の望みは徐々にうすれていく。このことは村の雇い入れの源となる一大変革を強いられる。

従って、とりあえず第四林班を請負方式によって行なうことを中止し、従来の直営直営による生産を続けるよう関係方面へ運動をして欲しい。」というものであり、議会は、代表者によって馬路管林署、全林野分会それぞれから事情調査の上、これを採択しました。

ただちに、「林業構造改善事業に附随して、国有林直営生産しよう。今までの選挙は、すべて無投票で終わっている過程からして、今回も多分無投票となるでしょうが……」

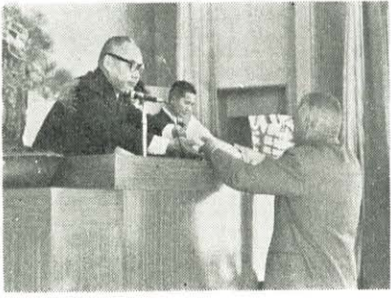
事業の一部を、特殊企業組合の請負方式によって、実行することに関する意見書案」が、緊急提案され、可決。村長も加えた代表者による高知管林局外関係方面への陳情を行なうことを決定しました。

請願憲法に定められた国民の権利であり、住民が議会に対し、紹介議員を通じて希望や意見を表明すること。

感謝決議

自治功労者受賞の 門田副議長に

議会では続いて、全国町村議会議長会から、永年勤続議員と



(表彰を受ける門田さん)

に貯水槽などの増強工事を行なっていました。このほど完了。

これです、水不足の心配はなからうと係ではみています。

この工事は、安田川の伏流水を貯水槽(小学校下、通称土居の泉)へポンプで送り込む工事と、貯水槽から配水槽(影芝)へ水をあげるための、エンジン・揚水機などの増強工事、総工費は百八十二万五千円になっています。

水道増強工事完成 水不足これで解消



(工事中の貯水槽附近)

タバコは村内で買ひましよう

して、自治功労者表彰を受けた門田副議長に対する感謝決議案が提出され、満場一致で決定しました。

「馬路村史」 出版もうすぐ

教育委員会、計画編集していた「馬路村史」(約四百ページ)が五月末に完成します。これは、奈半利町の郷土史家安岡大六先生に執筆を依頼していたもので、印刷費四十三万円、約六百部が出版されます。

なお、村内外の関係機関へ配布するほか、希望者には有償(金額は未定)で、おわけするそうです。

1月

- 1日 元日
3日 消防出初式
4日 御用始め
15日 成人の日
17日 土佐村森林組合林構事業視察団来村
18日 中芸町村長議長懇話会
19日 刈谷農林政務次官、田中林野庁長官来高。村長、議長小石川基幹道路開設などについて陳情
21日 台風23号による耕地災害(十八カ所)復旧工事入札
27日 林構協議会

2月

- 4日 安芸郡町村議会議長会
6日 山崎参議院農林水産委員長来高、村長、議長等基幹道路ほかについて陳情
9日 林構協議会
15日 中芸地区広域行政推進協議会
18日 19日 第一回議会(臨時)
22日 町村会政調会
28日 農協森林面組合通常総会

広域行政推進協議会発足

中芸地区 進展しない「五カ町村合併」にかわって

中芸五カ町村の町長、助役正副議長ら約二十人は、二月十五日、安田町中央公民館に集まり、地域内の産業振興や開発計画を立てるため、中芸地区広域行政推進協議会を設立、同日発足しました。

同協議会は、ことし一月、五カ町村関係者で懇話会を開いた際、高知県側から進展しない五カ町村合併にかわって、提案されたもので、「一町村の財政力で

小中学校「学力調査」の成績から 高知県・本村の実態は

—教育委員会—

昨年六月十六・十七の両日、小中学校は社会と理科の二教科、中学校は国語、社会、数学、理科、英語の五教科によって小中学校とも全国二十都府県の抽出校が指定となり、ほかは地教委の指令にしたがって実施されました。

その集計結果が分析されたので、県下並びに本村の実態は、全国的な見地からどんな位置にあるか、その概略をみてみましょう。

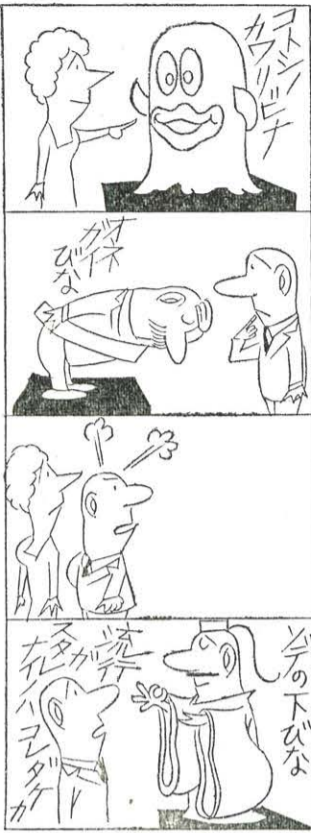
愛知、島根、岐阜、徳島、岡山の十一都府県でありほとんどこれに準ずるものに長野、静岡などがある。これらを上位群とすると、これに反し下位群にはいる県としては、五教科を通じて、二、三学年とも最下位からさかのぼって十位までにあるところは、岩手、青森、鹿児島、宮崎、高知、北海道の六道県で、しのがたいことですが、本県も完全下位群の一県であります。

小学校・第五学年二教科、第六学年二教科の成績順位で、二教科そろって、両学年とも十位以内にはいる県をみると、愛媛、香川、福井、富山、徳島、奈良、岡山の七県で、十五位までみると、東京、茨城、埼玉、愛知が加わります。これが上位群で、下位群といえは、完全下位群が北海道、岩手、鹿児島、宮崎、佐賀の五道県で、つづきのが三重、大分、山梨、宮城、高知長崎、群馬などでありました。

以上のことから、高知県の学力が全国平均を、はるかに下廻っているのは、しのび難いことであり、農山村の成績が悪いと断定はできないもので、お隣の愛媛、徳

流行ピナ

アヤタ・クニオ



用語の意味

広域行政—その対象が一定の地域の広がりをもった事務で、町村の区域をこえて、統一的に処理されることを要するもの。区々に処理するのは適当でなく、その完全処理のためある程度の広域を必要とするもの。また経済的にもいくつかの公共団体がまとまって処理した方が効果的である事務を、共同で進めていくことをいう。

さしあたって、中芸地区では「し尿処理」「観光事業」「消防行政」「治山治水」「総合開発」などが考えられる。

土地の良否と 適地に 適木を

造林するためには、自分の山の地力(土壌)を知って、適地に適木を植林しなければなりません。

こんなことは、誰にでもわかっていることですが、さて実際にどうかというところ、案内の適地へ樹を植えたりしている所をよく見かけます。

苗木の都合で植えたところでも、樹苗が余ると、ついそれを植付ける。このような場合、樹でも、やせ地より成長率は良いのですが、杉を植付けた場合と比較すれば、次のような結果となります。

森林組合の統計による馬路村の杉の反当り年間平均成長量は、杉三石一斗二升、檜一石六斗七升で、下の比較計算をご覧ください。

このように、一反歩の山に樹苗が余ったため、杉の適地でも、

今後の林業経営

調査と共に、土壌検査もあわせて行なっていますが、なんとこれも造林者の一人一人が土地の良否を知って造林しなければ意味がありません。ここに簡単な土壌の良否の見分け方、適木について説明します。

一つの山にも、様々な土壌は、谷筋や斜面の下部に良い所が多いのですが、北向きの山に一等地が多いのは、自然の湿度が高く、落葉腐植が盛んであるため、肥土が厚く、杉の成育に最適なわけです。

また、樹は余り肥よく地に植えると徳利病にかかり、成長を阻害せられる場合があります。(徳利病とは、木の根元が徳利のように病む)

適地適木造林を行なうためには、土壌の調査が必要で、科学的には非常にむづかしいもので、それぞれの土壌に名称符号をつけられ、土地の順位が決まれば、それに適した樹種を植付けることが、適地適木造林であり、簡単な土壌の見分け方、森林組合では、民有林の実態

四生産組合正式発足

■林業構造改善事業■

われは、たがたび本紙でも紹介しましたが、二月九日、四つの生産森林組合が登記完了、正式に発足しました。

この事業は「造林意欲旺盛な人たちが、共同で国有林野を借り、これに植林して将来の所得の向上を図ろうとする」もので、影生産森林組合(組合長中屋容臣、組合員五十人)は、通称赤ピソ山、東川板谷山、南板谷山七七・八杉を、相名生産組合(組合長乾光秀、組合員五十七人、日浦朝日出も含む)は、南板谷山の八六・七八杉を、東川生産組合(組合長長田中住、組合員二十六人、中ノ川も含む)は東川板谷山四六杉を、魚梁瀬生産組合(組合長門田整、組合員三十一人)は、板谷山四三・五八杉の各々国有林野を借り、昭和四十一年度から順次植林を

行なっていくものです。組合員総数は百六十四人、活用面積が総数で二五四・一六杉一戸当りの平均の活用面積は、一・五五杉で、三十年後には一戸当たり平均二百五十万円の収入がある見込みです。

全般に尾根筋が悪いのは、日光にさらされ乾燥度が高く、肥料分が雨水で沢筋へ流れ、自然とやせ地になるものであって、地ごしらえなどのとき、地面を出さないよう枝条で覆うなど心掛け、このような所には、檜や松を植えるようにしよう。(森林組合河平稔)

二出産おめでとうございます

父	母	赤ちゃん	続柄	生月日	部
小松 忠敬	富子	睦博	二男	12・16	日部
有岡 英美	典子	英典	二男	1・1	魚梁瀬
藤田 敏男	チナミ	恵	長女	1・8	魚梁瀬
中野 直	伸	忍	長女	1・17	日部
山崎磨喜夫	輝枝	かほり	長女	1・22	魚梁瀬
尾崎 順一	好子	恭子	二女	2・9	魚梁瀬
谷井 実敏	美津子	章	長男	2・10	日部

こめい福をお祈りします

氏名	性別	行年	亡月日	世帯主	続柄	部落
百田 英蓉	女	67	1・8	恵喜治	妻	東川
橋本 愛子	女	44	1・14	豊洋	母	日部
田中 民夫	男	63	1・21	慧	父	中ノ川

国民年金 大幅に引上げられる

国民年金制度は、昭和三十六年四月発足して、今年で五年目を迎えることになりました。

国民年金の年金額は、法律により「著しく生活水準の上昇したとき」または「少なくとも五年ごとに、年金額が改定されなければならない」ことになっており、この点、一般の生命保険などは大いに異なる点です。

現行では、二十五年掛金した場合、月額二千円の年金額、最高四十年掛金された場合は、月額三千五百円となっています。現時点で考えれば、生活の支えとするには、この額は十分とはいえず、この内容を改正して、そこで近々、この内容が改正される予定です。

その内容は、二十五年掛金した場合、月額五千円、即ち夫婦あわせれば月一万円となり、四十年掛金したときは月八千円、夫婦で一万六千円と、大幅な引上げが、考えられています。また、障害年金や母子年金等についても、それぞれ最低月額五千円に引上げられます。

このように年金額は平均すれば、二・五倍以上に引上げられますが、これに伴い、皆さんからの掛金は、現在の百円及び百五十円が、それぞれ百円増額され二百円、二百五十円となる予定です。これらの改正は、昭和四十二年一月から実施される予定です。

教員住宅(馬路)完成



(できあがった大家教員住宅)

昨年十月から、馬路日浦に建築を始めた大家教員住宅がこのほど完成しました。

総工費五百三十万四千円で、二階二棟六戸建て、延二百五十八・四平方、物置十九・八平方。

南国博へ展示

南国博覧会、高知県民ホール会場に、県下の八つの観光地の一つとして、魚梁瀬を紹介する観光写真が展示されています。

交通安全協会馬路分会では、馬路地区内十八カ所に「交通三悪追放」などの標語を掲げ、交通安全を呼びかけています。



—原稿募集—

- ・村の行政について、疑問に思ったり、要望したこと。社会一般の建設的な意見、アイデア
- ・詩、俳句、散文(400字詰原稿用紙2枚程度)

原稿には必ず住所、氏名をご記入下さい。紙上匿名を特に希望される方には、紙上では「一村民」と取扱いますが、無記名の投書などは原則として受け付けません。

送り先・馬路村役場 広報編集室

